

平成 31 年 2 月 28 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：胆嚢疾患に対する高周波プローブを用いた腹部超音波検査に関する臨床研究

本研究は藤田医科大学の倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2014 年 7 月から 2019 年 2 月までに、胆嚢疾患に対して高周波プローブを用いた腹部超音波検査を実施した方

2. 研究目的・方法・研究期間

胆嚢疾患に対して、周波数 3.75MHz の超音波プローブを用いた腹部超音波検査を行い、体表のアーチファクトのため良悪性の判定が困難な症例に対して、引き続き周波数 7.5MHz の高周波プローブを用いた腹部超音波検査を行い、描出能を検討しました。この検査は通常の診療の中で行われている行為です。これら収集したデータにまとめ、統計学的解析を行って、高周波プローブを用いた腹部超音波検査の有効性を検討しました。通常は、周波数 3.75MHz の超音波プローブを用いて腹部超音波検査が行われますが、体表面の近い場所にある病変を観察することは困難な場合があります。一方、周波数 7.5MHz の高周波プローブを用いた腹部超音波検査では、体表面の近い場所にある病変を明瞭に観察することができます。胆嚢においても体表面に近い場所では、明瞭に観察することができますため、胆嚢疾患に対する診断の有用性も報告されています。本研究は、腹部超音波検査により良悪性判定が困難な胆嚢疾患に対して、通常の超音波検査（周波数 3.75MHz の超音波プローブを使用）を行い、引き続き周波数 7.5MHz の高周波プローブを用いた腹部超音波検査を行います。そして、超音波画像所見を比較して、高周波プローブを用いた腹部超音波検査が有用かどうかを検討する研究です。対象は、胆嚢疾患に対して周波数 7.5MHz の高周波プローブを用いた腹部超音波検査を実施した患者さんです。研究期間は倫理審査委員会承認日～2023 年 3 月 31 日を予定しています。本研究により、簡便かつ非侵襲的に診断が行え、診断の向上による要精査の減少、医療費の削減効果も期待できると考えています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、発見契機、腹部超音波画像（3.75MHz、7.5MHz）描出能、腹部超音波
検診判定マニュアルに準じた超音波画像所見、判定区分、カテゴリー、その他の画像所見、
カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号等

試料：なし

4. 外部への試料・情報の提供

外部への提供はありません。

5. 除外の申出・お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方に
ご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先まで
お申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益
が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲
内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

6. 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学ばんだね病院 消化器内科
准教授 三好 広尚

7. お問い合わせ先

藤田医科大学 ばんだね病院 消化器内科

担当者：三好広尚

〒454-8509 愛知県名古屋市中川区尾頭橋三丁目6番10号

電話 052-321-8171（代表）